

ごとう通信

第 196 号

平成 29 年 4 月 1 日

ついに四月まで来ましたねえ。寒い日もあります、風の中に春の暖かさを感じるようになるとホツとします。朝、カーテンを開けると冬とは明らかに異なる光量。これで目覚めもスッキリ…と行かないのが怠け症でも、桜は確実に季節を感じて開花します。今年もお花見(という名の飲み会)三昧になりそうです。

さて、僕のやっているラジオ番組の収録スタジオは原宿にあり、月に数回は行っていますが、先日、改札(竹下口)を降りてびっくり。竹下通りを見渡しても人、人、人。確かにいつも人は多いのですが、通勤ラッシュ並みの人口密度。多少人の流れは

ありますが、本当にのろのろ。改札を出て一分ほどで到着するはずのスタジオまで5分近くかかってしまいました。とにかく若い子たちに外国人、さらには会社



社帰りのサラリーマンなどありとあらゆる人種がいるって感じでした。なんでこんな人が？と思うのはオヤジ化現象。そうなんです、春休みで全国か

ら学生たちが押し寄せてるんです。地方では、若い方がいなくなつて極端に高齢者ばかりの地域があります。一体若い人たちはどこに行つたんだらうと思うことがあります…

こういう所に来たいんでしょう。もちろん、今、原宿に来た子たちは旅行かもしれないですが、「将来は東京に出たい!」と思うでしょうし。

地方に行くのが緑が妙にきれいだったり、開放感だったり、空気が美味しく感じたり、木造の古い家に趣があったりとうらやましいことがいっぱいあります。これまたオヤジ化現象でしょうか。やっぱり地方から若者はいなくなりますね。

大学?予備校?

もちろん僕たちは大学の歯学部で学び、何とか国家試験をクリアして歯医者になつていきます。しかも大学は6年制。と言うことで他の方から「歯医者さんになる大学は大変なん